

特集 大雨災害

災害から身を守るために

7月全国的に 大雨災害が続く

7月上旬、西日本を中心に全国的に記録的な大雨による洪水や土砂崩れなど大きな災害が発生しました。

岡山県倉敷市では川が氾濫し、少なくとも家屋3棟が流され、約4,600戸が浸水被害にあいました。

上川管内でも7月3日、連日の大雨により旭川市東旭川町のペーパン川が増水し、近隣の住民が避難を余儀なくされました。

当町においては、24時間の最大雨量82.5ミリ、7月1日から9日までの総雨量は128.5ミリを記録しました。

幸い大きな洪水や土砂災害等はなかったものの、東町では6線川の水位が上がり、水田の用水路から川へ流れる樋門の弁がふさがってしまい排水されず、水田が水没

する被害が発生しました。そのため、水路から川へパイプスするため、排水ポンプで汲み上げる応急処置を行いました。

緊急速報が発信されたら 防災行動の第一歩を！

現在、テレビや携帯、スマートフォンとの機能で緊急速報が配信されています。これは気象庁が配信する「緊急地震速報」「津波警報」及び「特別警報」、国・地方公共団体が配信する「災害・避難情報」など、対象エリアにいる人に対し情報が通知されるサービスとなっています。

この緊急速報や町内に流れる防災無線放送による情報を確認し、タイムリーな情報確認することで、身を守る防災行動の第一歩となります。正しい情報を確認し、迅速に行動しましょう。

■ 雨の強さと降り方



大雨の場合に気象庁が発表する防災気象情報

大雨注意報	1時間雨量	30mm以上	大雨災害が起こるおそれがある場合に発表	危険度 高
	土壌雨量指数基準	剣淵町：80		
大雨警報	1時間雨量	50mm以上	大雨による重大な災害が起こるおそれがある場合に発表	
	土壌雨量指数基準	剣淵町：115		
洪水注意報	流域雨量指数基準	剣淵町：剣淵川流域 = 27、犬牛別川流域 = 22、パンケペオツペ川流域 = 6	洪水による被害が予想される場合に発表	
洪水警報	流域雨量指数基準	剣淵町：剣淵川流域 = 34、犬牛別川流域 = 27、パンケペオツペ川流域 = 11	洪水による重大な被害が予想される場合に発表	
記録的短時間大雨情報	1時間雨量	90mm以上	数年に一度くらいしか現れない大雨の場合に発表	



配布されているハザードマップ

剣淵町には、防災マップがあるのをご存知でしょうか。剣淵町では「剣淵町洪水ハザードマップ」を各ご家庭に配布しています。

この洪水ハザードマップは、剣淵川や、藤本町や西原町を流れる犬牛別川が大雨によって増水し、堤防が決壊した場合に備え、浸水が想定される区域の皆様が迅速に避難していただくために作成しています。

この洪水ハザードマップ内の地図は、河川管理者が作成した浸水想定区域図をもとに作成したもので、大雨の規模は50年に一回程度を想定し、「浸水の区域」や「浸水の深さ」、また「各地区の避難所」などの情報を示しています。普段から事前に確認しましょう。

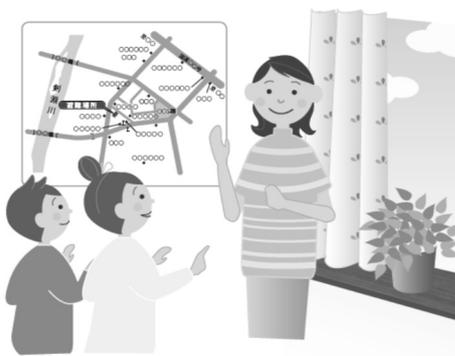
剣淵町洪水ハザードマップを確認しましょう！

1 気象情報に気を付けましょう



梅雨期や台風シーズンなど、洪水が起これやすい時期には、テレビ・ラジオ・新聞の天気予報に注意し、天気の違いや移り変わりに気を付けましょう。

2 平常時に避難路を確認しておきましょう



この地図には、洪水時に避難する場所が示されています。自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

備えあれば憂いなし
日頃から事前に水害に備えましょう！

3 非常持ち出し品を準備しておきましょう

必需品
チェックリスト

- | | | | | | |
|--------------------------|------------|--------------------------|-------------|--------------------------|---------------------|
| <input type="checkbox"/> | 食料3日分
 | <input type="checkbox"/> | 衣類(下着類)
 | <input type="checkbox"/> | 救急医療品
 |
| <input type="checkbox"/> | 飲料水3日分
 | <input type="checkbox"/> | タオル
 | <input type="checkbox"/> | 懐中電灯・ロープ・探り棒(杖)
 |
| <input type="checkbox"/> | 現金・貴重品
 | <input type="checkbox"/> | 雨具・防寒具
 | <input type="checkbox"/> | 携帯ラジオ
 |

～避難する時の注意すべき12のこと～

1 気象情報に注意し、早めの避難を



集中豪雨の時は、急速に水位が上がります。特に、夜の避難は危険なので早めの避難を。

2 避難の呼びかけを聞き逃さずに



避難勧告や指示には、速やかに対応しましょう。危険がせまっています。

3 地域によって避難時期が違います



河川のそばや、低地にある建物からは、早めに避難しましょう。

4 避難する前に



戸締り、電気、ガス、ストーブなどを確認してから避難しましょう。

5 お互いに助け合いましょう



お年寄りや子供、病気の人などの早めの避難に協力しましょう。

6 2人以上で避難しましょう



1人での避難は危険です。必ず2人以上で避難しましょう。

7 安全な避難路を通りましょう



地形的に高い道路を通りましょう。地形的に低く、冠水する道路は避けましょう。

8 河川の近くの道路は危険です



河川のそばを避難するのは避けましょう。止むを得ない場合は、早めに避難しましょう。

9 小河川・排水路・用水路のそばは危険



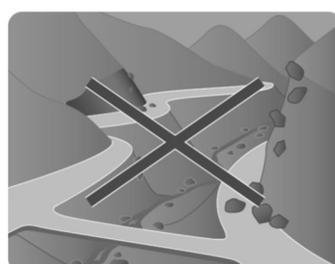
小さい排水路でも豪雨の場合は急流となって非常に危険です。

10 段差や溝、マンホールに注意



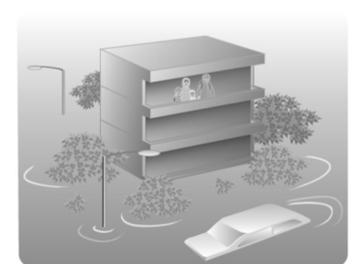
道路が冠水した場合は、見えない危険があります。杖などで確認しながら避難しましょう。

11 崖崩れや土石流に注意して避難を



山道や崖地、または急傾斜地や沢を横断する道路は危険です。早めに避難しましょう。

12 もしも逃げおくれたら



避難が遅れた場合は、近くの丈夫な高い建物に逃げましょう。

1～12の点に注意しながら避難しましょう！

